

教科名	国語	科目名	文学国語	単位数	2	対象	2年生
担当者	加藤・太田・黒澤						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
新文学国語			学習課題ノート			78	
学期	月	指導内容	指導目標				時数
1 学 期	4	・さまざま読み方を考える 『予感』	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を重ねる。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察をする。</li> </ul>				27
	5	・作品の主題を深める 『少年という名前のメカ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解して使う。</li> <li>語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。</li> </ul>				
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜執着＞する心を捉える</li> </ul> 『山月記』	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。				
	7		思考・判断・表現力等 読む ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考え方を深める。				
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>極限の表現に迫る</li> </ul> 『永訣の朝』	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> </ul>				38
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>叙述から心情を想像する</li> </ul> 『こころ』	知識及び技能 言葉の特徴や使い方 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。				
	11		思考・判断・表現力等 読む ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。				
	12						
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>史書が伝えるものを捉える</li> </ul> 『項羽と劉邦―「史記」を読む』	知識及び技能 我が国の言語文化 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。				13
	2		思考・判断・表現力等 読む ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。				
	3						
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> </ul>				定期考査 プリント等	
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。</li> </ul>				定期考査 プリント等	
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>				定期考査 プリント等	